

事務事業 No./名称	□サービス部門 ■支援部門 教育-20 保健事務		
主管課	学務課	関連課	市民健康課
分野名	学校教育		
目標 (目標値)	児童生徒の健康の保持増進を図る		

人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳) ・対象者数は5月1日児童 生徒数+就学時健診対象
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯	
	事業の対象者数	12945人	12830人	12690人	
運営資源状況	決算値(千円)	58,332	58,511	58,278	
	(国・県)				
	(負担金等)				
	(一般財源)	58,332	58,511	58,278	
	人員配置数	1.5人	1.6人	1.6人	
	人件費(千円)	11,605	12,787	14,004	
	協力のパートナー	鎌倉市医師会・鎌倉市歯科医師会・鎌倉市薬剤師会	鎌倉市医師会・鎌倉市歯科医師会・鎌倉市薬剤師会	鎌倉市医師会・鎌倉市歯科医師会・鎌倉市薬剤師会	
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	69,937	71,298	72,282	
	市民1人当りの経費(円)	393	402	408	
	対象者1人当りの経費(円)	5,403	5,557	5,696	

ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒									

指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
内部事務処理マニュアル(定期健康診断手引き)の修正	◎	目標値	毎年修正	毎年修正	毎年修正	毎年修正	毎年修正
		実績値	修正済	修正済	修正済	修正済	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面) (千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		
保健事務	58,332	学校保健事務	61,555	今後の方向性	A	理由・手法 保健事務の円滑な執行に向けて、学校医を委嘱している医師会、歯科医師会及び薬剤師会との協力体制を強化するとともに、養護教諭と定期的な協議等を行う。
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の個人情報を取り扱うため、管理には十分注意を要する。</li> <li>保健事務で密接な関わりをもつ養護教諭との連携・協議が必要である。</li> <li>保健事務を円滑に執行するためには、学校医を委嘱している医師会、歯科医師会及び薬剤師会との連携及び協力体制を強化する必要がある。</li> <li>結核高まん延国からの帰国(来日)による転入者への結核健康診断精密検査について、委託先である医師会と具体的な協議を行い、事業を開始する必要がある。</li> </ul>									
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と個人情報の取扱いに関し、管理を徹底するよう働きかけた。</li> <li>養護教諭の代表とは、定期的な協議等を行える会議を設定し、また、養護教諭全体とは、年1回の打合せ会等を活用し保健業務の効率的な運営が図れるよう事務改善に努めた。</li> <li>医師会については、前年度に引き続き代表理事と検診業務について意見交換等協議を行い業務の対応及び見直しを図った。</li> <li>また、歯科医師会及び薬剤師会とは、代表と協議を重ね、効率的な事務執行に努めた。</li> <li>結核高まん延国からの帰国(来日)による転入者への結核健康診断精密検査を開始した。</li> </ul>				取組の結果	■解決 □未解決				
未解決の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡協議、契約の場を利用して、関係機関と個人情報の取り扱いについて、慎重に取り扱うよう周知しているところであるが、今後とも徹底していく必要がある。</li> <li>結核高まん延国からの帰国(来日)による転入者への結核健康診断精密検査について、実施した中での課題等を整理し、結核対策委員会や委託先である医師会と協議・検討を行うことが必要である。</li> <li>平成27年5月からの学齢簿システム導入により、就学時健診通知書発送等業務の見直しが必要である。</li> </ul>									
中事業の評価	適切○要改善△(2面「評価の視点」を参照)		①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の取り扱いについては、今後とも管理を徹底するよう対応していく。</li> <li>養護教諭とは、あらゆる機会を捉えて協議や説明等を実施し、効率的な業務運営を図っていく。</li> <li>社会環境の変化に伴い学校保健における医師会、歯科医師会及び薬剤師会と緊密な連携がより必要となってきているため、今後も意見交換等を実施し業務の効率化等を図っていきたい。</li> <li>結核対策業務については、課題解決に向け結核対策委員会や委託先である医師会と協議・検討を行っていく。</li> </ul>						A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		A	
※□事業完了										

評価者名

学務課担当課長

廣川 智久

